

様式3

令和5年度 第1回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立鳥取湖陵高等学校

学校長 若林 安德

評価日	令和5年6月15日（木）	
評価・提言		学校の所見・改善策
1 目標設定について 特になし。 2 評価項目と目標達成のための取組について ・評価項目の「協同の学び…」の『協同』は『協働』ではないのか。役割やチームワークという点で考えると『協働』の方が適しているのではないか。 ・学校評価アンケート(生徒対象)に「先生は授業がわかりやすいように工夫をしているか」という設問があるが、教員がわかりやすい授業をするのは当たり前。それよりも授業を通して生徒自身がどう成長し実践力が身についたかという設問にしてはどうか。 3 具体目標について 特になし。 4 目標達成のための具体方策について ①地域連携の取り組みについて ・学校にどんなスキルがあるかを地域に示してもらいたい。また、学校の方から具体的な活動の提案をしてほしい。(例：子ども対象のプログラミング教室など) ・湖陵高校とは頻繁に交流させてもらっている。食品システム科のパン作りや緑地デザイン科の花植え、人間環境科の保育実習など。バザー販売の生産物も好評。地域連携というと堅苦しい感じがするので、もっと気軽にフットワークの軽い交流にしたい。 ②学校の魅力化・特色化について ・湖陵高校の総合選択制で他学科も学べるカリキュラムを活かして、科の連携（スマート農業など）を推進してはどうか。単科より複数の科が連携することで科の魅力がアップするのではないか。 ・一昨年度の創立20周年記念式典の卒業生による記念講演で、卒業生が多面で活躍している様子がわ		・『協同』としているのは協同学習という観点。再検討し必要があれば名称変更も可能。 ・「授業のわかりやすさ」の設問は残し、新たに「授業を通しての成長や実践力が身についたか」という設問を追加するか検討する。 ・学校が取り組んでいる地域連携を地域へ紹介する方法（チラシや学校案内配布等）を検討。 ・外部から地域連携の要請があった場合、迅速に対応できるように学校の体制を整える。 ・学校として学科間連携を一層推進し地域へ発信できるようにしていく。 ・卒業生が活躍している姿がわかりやすく紹介できるよう学校案

かり良かった。学校パンフレットに進学先を載せるだけでなく視覚的に写真で活躍している卒業生を紹介してはどうか。中学生も高校卒業後の進路にイメージを持ちやすいのではないかな。 ③生徒募集・広報について ・中学生は進学を希望する生徒（家庭）ばかりではない。専門高校は進学をアピールするより就職をアピールした方がよいのではないかな。専門高校でしっかり就職できることをもっと発信することが魅力につながる。 ・就職した生徒について、本人だけでなく経営者（第三者）からもらったコメントも活用してはどうか。 ・もっと地域や小中学校との関わりをアピールし、楽しい学校を印象付けてはどうか。	内等の媒体を活用する。 ・中学生やその保護者が専門高校に何を期待しているのかを学校全体で考え広報の内容・方法を工夫する。 ・外部からの生徒評価等も適宜活用していく。 ・小中学生に本校の良さが十分伝わるような広報活動を継続して行っていく。
---	---